

2015年度学校評価結果と2016年度目標

2016年3月

恵泉幼稚園

1. 本園の教育理念・教育目標・教育方針

恵泉幼稚園は、高橋誠一が、「神は愛である」というキリスト教の教えに立ち、1935年（昭和10年）に設立した幼稚園です。幼いときに、自分が愛され、守られていることを感じることができるよう、幼児の豊かな心、健康な体、考える力を育みます。生きる力の基礎を培い、子どもとともに、育ち合う園であり続けます。

【教育目標】

意欲のある子ども

思いやりのある子ども

感性豊かな子ども

感謝できる子ども を目指します。

【教育方針】

一人ひとりの個性を生かし、興味・関心に合った環境を作る

ありのままの自分が受け入れられていることを知り、遊びを中心とした生活の中で思いやる心を育てていく

自然豊かな広い園庭で、季節に触れ、美しさや尊さを感じる

祈りを通して、神様に愛され、守られ、たくさんの恵みを与えられていることに感謝する心を育てる

2. 2015年度の振り返りと2016年度重点的に取り組む目標・計画

【2015年度、重点的に取り組む目標・計画】を振り返りました。

- ・遊べる時間、空間、仲間との関係を保障し、遊びをとおしての総合的な成長を促す。

遊べる時間を保障するという事は、子どもたちが「やりたい」と関心や意欲を持ち、夢中になって、仲間と一緒に時間をかけて遊ぶことができる、その機会と時間を確保することです。

その中で、教師が教え込むカリキュラムからは得難い、子どもらしい発想の発展や、得た知識を色々に関連させ、思考し、うまくいかない経験も友だちと試行錯誤して、人との良好な関係を築く基礎が培われていきます。かつ、遊びが良い方向に向かうためには、教師は子どもを注意深く見て、一人ひとりにふさわしい援助と励まし、見守るという意識と行動が必要だと考えます。

人として生きていくために大切なことを学べる遊びは、子どもたちの成長発達に、欠かせないという「遊びの本質」をしっかり押さえておかなければなりません。そして、このような遊びの重要性を、幼稚園とおうちの方が共有することが、恵泉幼稚園の教育の理解に繋がります。

今後も、遊びが人を育てる、遊びが子どもたちの育ちに影響を与える、遊びは楽しいという本質を重視し、「子どもが夢中になっていること」を大切にして、子どもの幸せに繋がる教育・保育に努めていきます。

- ・年少組：お友だちと一緒に遊んだり、生活する楽しさを感じていく。新入園児なので、初め

の一步を丁寧に見ていく。

初めての集団生活で掴んだ小さな自信が、次の生活の楽しみや喜びに生きていきます。今後も、「じっくり育つ子どもの姿を支えること」を基本的な取り組みとして、重視していきます。

【2016年度、重点的に取り組む目標・計画】

『一人ひとりの自立への意欲を育てる』

・精神的(内面的)な自立として、集団生活に順応できるように、丁寧に一人ひとりと関わる。

補足：一人ひとりの個性を尊重しつつ、集団生活に於いて、他の人と助け合い、良い関係が作れることを期待する。

育ってきている家庭環境の違いや個性に応じた関わりに配慮しながら、集団生活にスムーズに順応できる自信をつけていく。

・生活習慣の自立として、自分のことは自分でするように見ていく。

補足：自分の身の回りのことができるようになることは、集団生活の順応を早め、友だちと遊ぶ楽しさを実感し、精神的にも安定してくることを見据えて取り組む。

・重点目標の留意点

補足：集団生活に順応するための自立は、急がすものではなく、また、画一的に指導することでもありません。

子どもらしく生きる生活の中で、一人ひとりの発達に必要な準備が整うのを「待つ」教師の姿勢を大切にしていく。

3. 学校評価結果の取組み

評価項目	取組み状況
「おうちの方の学校評価」を実施。 評価項目別に採点を集計し、 意見をまとめた。	意見を参考に、振り返りを行い、継続の意味の確認と改善点を見い出した。
教員の自己評価を実施。	「教員自己評価」をもとに、担任は子どもとの関わり、おうちの方との連携、教師としての専門性等を振り返りました。良い点は伸ばし、十分ではない点は改め、新年度、向上していけるように努めます。